

会計名			高齢者能力活用事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	3									
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保をはじめとする諸活動を支援し、高齢者の能力開発及び生きがいづくりを図る。				主たる内容	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。				
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律									
		対象者 刈谷市シルバー人材センター					事業期間 昭和54年度～				
		実施方法 ☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・補助金の交付 24,643,134円		・補助金の交付 27,612,250円		・補助金の交付 34,615,245円		・補助金の交付 46,298,000円			
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の能力活用及び生きがいづくりを図ることができた。									
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		シルバー人材センター会員数（人）				537	580	585	585	—	
指標											
他市との比較検証		近隣市の会員数（年度末時点） 令和7年度 碧南市574人、安城市1,029人、知立市435人、高浜市485人 令和6年度 碧南市564人、安城市1,042人、知立市435人、高浜市435人 令和5年度 碧南市564人、安城市1,068人、知立市428人、高浜市433人									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		24,643	27,612	34,615	46,460	合計 34,615,245 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 34,615,245 円				
		一般財源	24,643	27,612	34,615	46,460					
	職員人件費 ②		384	637	662	677					
	総事業費（①+②）		25,027	28,249	35,277	47,137					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			高年齢者能力活用事業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	長寿生きがい係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	高齢者の社会参加や生きがいづくりは認知症予防等にも効果的であり、今後の更なる高齢化の進行に伴いより一層意義が高まると思われるため、その事業の運営を支援していくことは必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	退職後も労働意欲を持つ高齢者に対しての雇用を創出するうえで、高齢者の雇用に関するノウハウを有するシルバー人材センターに対して補助金を交付することは効率性が高く妥当である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	高齢者を雇用するための窓口としてシルバー人材センターは非常に有効な手段であるが、営利を目的としていないため、事業の安定性、継続性を確保するためには市が主体となって実施する必要がある。福祉政策の一環としても重要であり、総合計画に位置付けられた施策である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	高齢者の生きがいづくりのための主要な方法として、高齢者の社会参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	シルバー人材センターの会員数は増加傾向にあり、健康の維持・増進や生きがいづくり・社会参加を目的として入会する会員が多い。 今後も引き続きシルバー人材センターの活動を支援することで、就労意欲のある高齢者が働き続けられる環境づくりに努める。					

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部		福祉健康部			
一般会計							担当課		長寿課			
款	項	目					担当係		長寿生きがい係			
3	1	3										
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心									
		基本施策	高齢者福祉									
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり									
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。				主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会等の実施					
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
		根拠法令										
	対象者	クラブ会員及び60歳以上の高齢者				事業期間	昭和56年度～					
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	・いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（52クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価									
			6年度実績	・いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（52クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価								
7年度実績				・いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（49クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価								
				8年度計画	・いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（47クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・健康マージャン交流会							
成果		いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。										
課題		単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、クラブ数及び会員数の維持を図る必要がある。 参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。										
指標名称（単位）						実績値			目標値			
						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
		活動指標	いきいきクラブ加入者数（人）				5,508	5,260	4,737	4,737	—	
活動指標		いきいきクラブ加入率（％）				14.1	13.3	11.8	11.6	—		
他市との比較検証	近隣市においても、老人クラブ活動を支援するため同じような内容の事業を実施している。											
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳					
	事業費 ①		6,226	6,347	5,973	6,215	合計	5,973,401 円				
	財源	特定財源	1,651	1,651	1,514	2,201	委託料	720,443 円				
		一般財源	4,575	4,696	4,459	4,014	負担金、補助及び交付金	5,252,958 円				
	職員人件費 ②		4,680	4,858	5,044	5,164						
	総事業費（①＋②）		10,906	11,205	11,017	11,379						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		いきいきクラブ連合会補助金（県）						
9年度以降の事業費見込		0		いきいきクラブ補助金（県）								

会計名			高 齢 者 の 生 き が い と 健 康 づ く り 推 進 事 業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	長寿生きがい係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となつてはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。	
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
	いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。 一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、クラブ数及び会員数の維持を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名			魅力あふれる介護の職場づくり支援事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護保険企画係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護人材の確保及び定着並びに介護職に対するイメージの向上を図るため、介護事業所が実施する職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を表彰する。 また、取組内容を広く周知し、他の事業所も同様に改善が図られるよう推奨することで、さらなる良質な介護サービスの提供を確保する。				主たる内容	○改善取組の募集 ○応募内容の審査 ○表彰式の開催 ○全改善取組の周知				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市魅力あふれる介護の職場づくり表彰制度実施要綱								
	対象者	介護サービス事業者				事業期間	令和6年度　～				
	実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
_____		・働きやすい職場づくりのための取組　0件 ・業務効率化の取組　2件 ・人材育成のための取組　0件 ・離職防止及び定着促進に向けた取組　2件		・働きやすい職場づくりのための取組　0件 ・業務効率化の取組　2件 ・人材育成のための取組　0件 ・離職防止及び定着促進に向けた取組　0件		・働きやすい職場づくりのための取組　2件 ・業務効率化の取組　3件 ・人材育成のための取組　2件 ・離職防止及び定着促進に向けた取組　3件					
成果		応募のあった取組に対して、審査委員会を実施し、表彰式を開催した。また、取組内容を本市ホームページ等で広く周知したことに加え、表彰式についてかりや市民だよりに掲載した。									
課題		本事業について、ホームページ等により事業所に対して周知を図ったが、応募が少なかった。事業所が応募しやすくなるような応募様式や周知方法を検討し、応募件数の増加を図りたい。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		応募件数（件）			—	4	2	10	10		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	49	49	61	合計	49,040 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	42,440 円			
		一般財源	0	49	49	61	需用費	6,600 円			
	職員人件費 ②		0	876	910	931					
	総事業費（①＋②）		0	925	959	992					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0							
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			魅力あふれる介護の職場づくり支援事業	担当部	福祉健康部	
一般会計				担当課	長寿課	
款	項	目		担当係	介護保険企画係	
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	国から介護人材の確保に関する施策の推進が求められており、今後、高齢者人口の増加及び介護サービス利用者の増加が見込まれることも踏まえ、介護人材の確保に関する取組が必要であるため。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を表彰し、受賞取組内容を周知することにより、他事業所においても同様の改善取組を実施することができるため。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	受賞取組を実施した事業所に対して、他事業所が詳細を確認するなど、事業所間の横のつながりを確保することができた場合は、事業所間で連携を図りながら職場環境の改善、業務効率の向上等に関する取組を実施することが可能となるため。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を周知することにより、より働きやすい職場環境を整備することに加え、改善取組を通じて事業所間の横のつながりを確保することが可能となるため。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後も本事業を継続して実施し、職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を促進することにより、介護人材の確保及び定着並びに介護職に対するイメージの向上を図る。					

会計名			介護人材確保・育成支援事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		介護保険企画係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護人材の確保・育成・定着の取組を促進することで、本市の安定的な介護保険制度の運営を図る。				主たる内容	○介護に関する入門的研修を実施する。 ○介護職員初任者研修の資格取得及び主任介護支援専門員の資格取得・更新に必要な研修に係る費用に対して、補助金を交付する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	介護職員初任者研修費補助金交付要綱、主任介護支援専門員研修費補助金交付要綱							
	対象者	刈谷市在住、在勤、在学の方 他				事業期間	令和3年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 16人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 6人							
			6年度実績	・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 8人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 6人						
7年度実績				・介護に関する入門的研修参加者 29人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 13人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 8人						
				8年度計画	・介護に関する入門的研修参加者 30人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 15人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 15人					
		成果			介護保険事業計画における重点施策に介護人材の育成支援を掲げ、研修制度の活用促進に向けて、公式LINEやデジタルサイネージを用いた周知を行ったことにより、介護人材の確保・育成・定着に向けた支援制度を推進することができた。					
		課題	介護に関する入門的研修の開催をきっかけに介護人材の確保に至っているかは不透明であることから、より確実に人材を確保できるような施策を検討する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		研修参加者数（人）	20	20	29	30	—			
活動指標		補助制度利用者数（人）	22	14	21	30	—			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,121	928	1,076	1,799	合計 1,076,140 円			
	財源	特定財源	578	567	636	973	委託料 555,940 円			
		一般財源	543	361	440	826	使用料及び賃借料 12,200 円			
	職員人件費 ②		77	876	910	931	負担金、補助及び交付金 508,000 円			
	総事業費（①+②）		1,198	1,804	1,986	2,730				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		介護の普及啓発事業費補助金（県）				
		9年度以降の事業費見込		0		介護人材資質向上事業費補助金（県）				

会計名			介護人材確保・育成支援事業	担当部	福祉健康部	
一般会計				担当課	長寿課	
款	項	目		担当係	介護保険企画係	
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	介護保険制度施行後、要支援・要介護認定者数の増加に伴い、介護サービス利用量も増加していることから、介護人材の確保やより専門性の高い介護人材の育成が喫緊の課題となっている。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上を促進することを目的とした事業であり、安定的な介護保険制度の運営を図るため、市が主体となって実施すべきものである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上は、安定的な介護保険制度の運営と介護サービスの充実に繋がるものである。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	要支援・要介護認定者数の増加に伴い、介護人材の確保・育成・定着は急務であり、今後も介護職に対するニーズは高まることが予測されるため、継続して事業を実施し、介護職への関心を喚起するとともに、入職者のすそ野を広げ、介護人材の参入促進と資質の向上、育成支援を図る。					

会計名			高齢者日常生活支援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○携帯型緊急通報機器の貸与 ○固定型緊急通報システムの設置 ○声の訪問の実施 ○火災警報器の給付 ○家具転倒防止器具の取付 ○布団乾燥等の実施 ○終活情報キットの配付			
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市在宅高齢者見守り安心事業実施要綱、刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱 他						
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	昭和60年度～		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	・携帯型緊急通報機器 601人		・携帯型緊急通報機器 620人		・携帯型緊急通報機器 632人		・携帯型緊急通報機器 650人	
			・固定型緊急通報システム 49人		・固定型緊急通報システム 47人		・固定型緊急通報システム 49人		・固定型緊急通報システム 50人	
・声の訪問 44人			・声の訪問 44人		・声の訪問 48人		・声の訪問 50人			
・日常生活用具 8人			・火災警報器 12人		・火災警報器 14人		・火災警報器 15人			
・家具転倒防止器具 9世帯			・家具転倒防止器具 14世帯		・家具転倒防止器具 4世帯		・家具転倒防止器具 4世帯			
6年度実績		・布団乾燥等 67人		・布団乾燥等 71人		・布団乾燥等 56人		・寝具クリーニング 60人		
		・友愛訪問 1人		・終活情報キット配付 164人		・終活情報キット配付 174人				
		成果	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。							
		課題	高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、見守りサービスの充実及びより一層の周知啓発が必要である。							
		指標名称（単位）				実績値			目標値	
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標	携帯型緊急通報機器・固定型緊急通報システム利用者数（人）			650	667	681	700	720		
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）			67	71	56	60	70		
C 事業コスト	他市との比較検証									
	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		23,723	26,790	27,039	25,980	合計	27,039,367 円		
	財源	特定財源	62	57	48	0	需用費	248,600 円		
		一般財源	23,661	26,733	26,991	25,980	役務費	18,564 円		
	職員人件費 ②		5,294	5,734	5,788	5,926	委託料	26,545,218 円		
	総事業費（①+②）		29,017	32,524	32,827	31,906	扶助費	226,985 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			高 齢 者 日 常 生 活 支 援 事 業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、急病や事故等の緊急時に不安を抱えている方が多く、見守りや事故防止につながる生活支援や緊急通報システムの必要性は高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	火気取扱いや寝具クリーニングなど、高齢者では扱いが難しい動作について、事故の無いようにフォローできる事業であるが、利用のきっかけがケアマネージャーや民生委員、包括支援センター等職員の勧めであることが多く、他者の客観的介入が必要と思われる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	高齢者が住み慣れた地域で長く在宅で生活するため、サービスの充実を図り市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	刈谷市高齢者福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域や家庭で生活を営めるよう、在宅生活を支援するための事業として実施している。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、見守りサービスの重要性が高まっているため、より一層の周知を図る必要がある。				

会計名			一般食サポート事業				担当部	福祉健康部								
一般会計							担当課	長寿課								
款	項	目					担当係	高齢福祉係								
3	1	3														
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心													
		基本施策	高齢者福祉													
		施策の内容	高齢者への生活支援													
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、福祉の増進を図る。				主たる内容	週5回以内夕食を配達し安否確認を行う。 ○対象者 75歳以上又は65歳以上75歳未満で要支援・要介護認定を受けている高齢者で、ひとり暮らしの人又は同居人要件を満たしており配食サービスの提供が必要であると判断された人 ○利用者負担 市民税課税世帯は弁当代実費分、市民税非課税世帯は弁当代実費分から300円を差し引いた額									
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画													
			根拠法令 刈谷市高齢者食の自立サポート等事業実施要綱													
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成8年度 ～								
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他													
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・利用者数 540人 ・延べ利用食数 50,726食		6年度実績		・利用者数 578人 ・延べ利用食数 55,389食		7年度実績		・利用者数 561人 ・延べ利用食数 56,355食		8年度計画		・利用者数 600人 ・延べ利用食数 57,000食	
			成果	見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。												
課題				高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれることから、現在の事業者数では対応し切れない事態とならないため、新たな事業者が参入できるような募集方法等について調査研究する必要がある。												
			指標名称（単位）						実績値			目標値				
活動指標		配食サービス利用者数（人） ※年度末時点の登録利用者数						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
		延べ利用食数（食）						50,726	55,389	56,355	57,000	57,000				
他市との比較検証		県内複数の市で同様の事業を実施している。 配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。														
		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳								
C 事業コスト		事業費 ①		23,891	28,561	26,199	28,287	合計 26,199,426 円								
		財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 24,750 円								
	一般財源		23,891	28,561	26,199	28,287	役務費 80,000 円									
	職員人件費 ②		2,379	2,628	2,315	2,371	委託料 26,094,676 円									
	総事業費（①+②）		26,270	31,189	28,514	30,658										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称										
7年度までの累積事業費		0														
9年度以降の事業費見込		0														

会計名			一般食サポート事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者のみ世帯は、機能の低下により食の確保が困難になる方も多く、本サービスはニーズが高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	食の確保とともに安否確認も行え、孤立死を防ぐためにも高齢者に必要な必要なサービスと考える。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	高齢者が住みなれた地域で在宅で生活続けるため、介護認定状況等把握できる市が関与すべき事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	在宅生活を支援する重要な事業として実施し、貢献度は高い。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	配食事業者と意見交換を行いながら、常に運用方法について調査・研究し、安定的に事業を実施する。				

会計名			高齢者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	高齢者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、外出及び医療機関への通院等を支援し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○高齢者タクシー 要支援2以上、かつ、市民税非課税世帯の65歳以上の高齢者に対し、タクシー料金助成利用券（上限830円）を一月当たり3枚交付する。 ○介護タクシー 要介護1以上、かつ、特殊車両の必要な65歳以上の高齢者に対し、車椅子昇降機付き車両又は寝台付車両のタクシー料金助成利用券（上限4,600円）を一月当たり3枚交付する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成14年度～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	6年度実績		7年度実績		8年度計画			
			・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 298人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 548人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 323人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 611人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 366人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 653人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 400人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 700人	
成果			タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図るとともに、高齢者の外出支援を図ることができた。							
課題			介護タクシー券の利用率が約27%と低いため、利用率を上げる取組が必要である。 タクシー利用時における利用者負担の軽減や事業の効率化のため、利用券の金額変更を検討する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		高齢者タクシー料金助成利用券利用率（%）	58.5	63.2	62.3	63.3	63.3			
成果指標		介護タクシー料金助成利用券利用率（%）	25.8	31.5	27.3	34.1	34.1			
他市との比較検証		県内約半数の市で同様の事業を実施している。 1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		24,571	28,364	27,557	33,299	合計	27,556,845 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	356,345 円		
		一般財源	24,571	28,364	27,557	33,299	役務費	570,000 円		
	職員人件費 ②		2,532	1,832	2,315	2,371	扶助費	26,630,500 円		
	総事業費（①+②）		27,103	30,196	29,872	35,670				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			高 齢 者 タ ク シ ー 助 成 事 業	担当部	福祉健康部		
一般会計				担当課	長寿課		
款	項	目		担当係	高齢福祉係		
3	1	3					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	高齢者の医療機関への通院を支援するとともに、閉じこもり防止、買い物等生活におけるの移動手段としても重要な事業である。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	タクシーの事業所等と連携し、高齢者の移動手段の確保として有効な事業である。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	総合計画において、安心安全に移動できる交通移動環境の形成を目指し、交通弱者の移動支援の充実を課題認識されている。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	電車やバス等を利用することが困難な高齢者の外出を支援することや、通常の自家用車を利用することが困難な高齢者の通院等を支援することで、高齢者の外出機会を創出しており、市の高齢者福祉施策に貢献している。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		高齢者の外出促進を図るため、利用率を上げる取組を検討する。 タクシー利用時における利用者負担の軽減や事業の効率化のため、利用券の金額変更を検討する。					

会計名			住宅改善費等補助事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護認定給付係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
	施策の内容		介護サービスの充実								
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう住宅改善費等の一部を補助することにより、高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図る。				主たる内容	○住宅改善費 要介護認定者等の住宅改善費用が介護保険上限額（20万円）を超えた場合に、超えた費用の一部を補助する。 ○介護支援ベッド貸与利用料 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ○住宅バリアフリー化工事費 要介護認定等を受けていない高齢者の住宅バリアフリー化工事費の一部を補助する。（上限額10万円）				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱、刈谷市介護支援ベッド貸与利用料補助金交付要綱、刈谷市高齢者住								
	対象者		※主たる内容に記載				事業期間	平成12年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・住宅改善費 補助人数 158人 補助金額 16,056,117円		・住宅改善費 補助人数 155人 補助金額 15,717,303円		・住宅改善費 補助人数 149人 補助金額 12,892,964円		・住宅改善費 補助人数 170人 補助金額 15,831,000円					
・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 168人 補助金額 4,338,564円		・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 172人 補助金額 4,773,456円		・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 165人 補助金額 4,583,922円		・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 180人 補助金額 5,060,000円					
・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 67人 補助金額 5,480,913円		・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 68人 補助金額 5,383,737円		・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 56人 補助金額 4,592,930円		・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 55人 補助金額 4,372,000円					
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。									
課題		高齢化率の上昇に伴う補助人数及び補助額の増加に対する適切な審査と予算執行を行う必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		住宅改善費補助人数（人）			158	155	149	170	170		
活動指標		住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）			67	68	56	55	55		
他市との比較検証		住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施していたが、岡崎市は令和6年度をもって廃止した。補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。									
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		26,124	26,088	22,274	25,507	合計 22,273,816 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 22,273,816 円				
		一般財源	26,124	26,088	22,274	25,507					
	職員人件費 ②		230	239	248	254					
	総事業費（①+②）		26,354	26,327	22,522	25,761					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			住宅改善費等補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	本補助事業は介護保険の給付対象を超えたものであるが、要介護認定を受けるなど身体機能の低下が生じる高齢者が毎年一定数生じているため、住宅改修や介護支援ベッドのニーズも発生し続けている。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	総合計画で掲げる「全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる」ことを実現するために必要な補助事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	自宅改修費を補助することで、高齢者が住み慣れた家で安心して暮らすことができ、総合計画の施策に直接貢献する事業である。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 令和6年度からの第9期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。				

会計名			難聴高齢者補聴器購入助成事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり					
		目的	補聴器の購入費用の一部を助成することにより、聴力機能の低下により日常生活に支障のある高齢者の生活の質の改善及び社会参加を支援する。		主たる内容	○対象者 両耳の聴力レベルが30デシベル以上で身体障害者手帳の交付対象とならない65歳以上の高齢者 ○助成率 2分の1 ○助成額 課税世帯 上限1万5千円 非課税世帯 上限3万円		
	位置づけ							
	関連計画							
	根拠法令	刈谷市難聴高齢者補聴器購入費助成事業実施要綱						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	令和7年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
					・助成者数 122人		・助成者数 120人		
	成果	聴力機能の低下により日常生活に支障のある高齢者のコミュニケーションの円滑化を図り、高齢者の生活の質の改善及び社会参加を支援することができた。							
	課題	新規事業のため、助成制度を広く周知する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	難聴高齢者補聴器購入助成者数（人）			—	—	122	120	180
	活動指標								
	他市との比較検証	近隣市の状況 助成事業あり・・・安城市、知立市、西尾市、岡崎市、豊田市 助成事業なし・・・碧南市、高浜市							

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	2,173	2,417	合計	2,172,500 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	2,172,500 円
		一般財源	0	0	2,173	2,417		
	職員人件費 ②		0	0	1,902	1,439		
	総事業費（①＋②）		0	0	4,075	3,856		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			難聴高齢者補聴器購入助成事業	担当部	福祉健康部	
一般会計				担当課	長寿課	
款	項	目		担当係	高齢福祉係	
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	聴力機能の低下により日常生活に支障のある高齢者に対する支援として必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	補聴器相談医等や認定補聴器技能者を通して補聴器の有効性が高い高齢者に対して購入費の一部を助成しており、効果的な事業である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	総合計画での目指すべき姿である「高齢者の社会参加・生きがいづくり」の実現に向けて 市が主体となって実施すべき事業ある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	高齢者のコミュニケーションの円滑化による生活の質の改善及び社会参加を支援することで、認知症の予防や社会的孤立の防止を推進することができるため、施策に貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
新規事業のため、助成制度を広く周知する必要がある。						

会計名			高齡者施設等感染症対策支援事業				担当部		福祉健康部					
一般会計							担当課		長寿課					
款	項	目					担当係		介護保険企画係					
3	1	3												
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心											
		基本施策	高齡者福祉											
		施策の内容	介護サービスの充実											
	目的	感染症のまん延等不測の事態に備え、事業者に対する感染症対策のための支援を行うことで、介護サービスの継続的な提供体制を確保する。				主たる内容	○感染管理認定看護師の派遣 ○簡易陰圧装置設置に必要な経費に対する補助金 ○ゾーニング環境等整備経費に対する補助金							
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画											
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱											
		対象者	介護サービス事業者				事業期間	令和2年度～						
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他												
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・感染管理認定看護師派遣 0件 ・簡易陰圧装置の設置経費に対する補助 補助件数 2件 補助金額 6,160千円 ・ゾーニング環境等整備経費に対する補助 補助件数 2件 補助金額 6,160千円											
			6年度実績	・感染管理認定看護師派遣 0件 ・簡易陰圧装置の設置経費に対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,918千円 ・ゾーニング環境等整備経費に対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,420千円										
7年度実績				・感染管理認定看護師派遣 0件										
				8年度計画	・感染管理認定看護師派遣									
					成果	介護サービス事業者から感染症に関する報告があった際には、感染管理認定看護師の派遣について案内するなど、周知を行った。								
課題		簡易陰圧装置の設置経費及びゾーニング環境等整備経費に対する補助金について、ホームページ等により事業所に対して周知を図ったが、応募がなかった。事業所における補助金の活用に向け、一層の周知を行っていく。												
指標名称（単位）					実績値			目標値						
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度					
		活動指標	簡易陰圧装置設置費補助件数（件）			2	1	0	—	—				
		活動指標	ゾーニング環境等整備費補助件数（件）			2	1	0	—	—				
他市との比較検証														
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳							
	事業費 ①		12,320	5,338	0	50	合計 0 円							
	財源	特定財源	12,320	5,338	0	0								
		一般財源	0	0	0	50								
	職員人件費 ②		77	478	165	508								
	総事業費（①＋②）		12,397	5,816	165	558								
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称								
		7年度までの累積事業費		0										
		9年度以降の事業費見込		0										

会計名			高年齢者施設等感染症対策支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	感染症における介護サービス事業所への支援であり、社会的需要は非常に高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	簡易陰圧装置の設置及びゾーニング環境等の整備に対する補助金の交付については県の補助制度に基づくものである。また、感染管理認定看護師の派遣については、専門家による現場での直接指導や電話等による相談対応であり、感染拡大防止に直結する内容であるため、必要性は高い。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であることから、市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	介護サービスの提供継続を支援することで、利用者へのサービス供給の安定化を図ることができる。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 ■ 縮小 □ 終期設定 ■ 休止・廃止		
	感染症の発生状況及び県における補助制度の動向を踏まえ検討する。				

会計名			介護施設等整備費補助事業				担当部		福祉健康部			
一般会計							担当課		長寿課			
款	項	目					担当係		介護保険企画係			
3	1	3										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心									
		基本施策	高齢者福祉									
		施策の内容	介護サービスの充実									
	目的	介護保険事業計画の整備目標に基づき、安定した質の高い介護サービスの提供体制を整備するため、民間事業者が整備する介護施設等の施設整備費及び開設準備経費に対して補助を行う。				主たる内容	施設整備費及び開設準備経費に対して、補助金を交付する。					
		位置づけ										
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
	根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱										
	対象者	介護サービス事業者				事業期間	令和4年度～					
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
認知症グループホーム 1件 補助金額 ・非常用自家発電設備の整備 7,481千円		認知症グループホーム 0件 看護小規模多機能型居宅介護事業所 0件		認知症グループホーム 0件 看護小規模多機能型居宅介護事業所 0件		認知症グループホーム 3件 補助金額 ・施設整備 126,575千円 ・開設準備 55,944千円 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1件 補助金額 ・施設整備 43,575千円 ・開設準備 9,324千円						
成果		認知症グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募に向け、愛知県内で実績のある法人等に声掛けするなど、積極的に周知活動を行い、認知症グループホームの申込を2件受け付けた。また、令和8年度の公募に向けて、法人による準備期間を確保するため、公募内容や必要書類等を先行してホームページに公表した。										
課題		積極的に周知活動を行い、応募に向けた相談は受け付けたものの、認知症グループホーム3件のうち1件及び看護小規模多機能型居宅介護事業所1件については整備することができなかった。第9期介護保険事業計画における整備目標の達成に向け、より一層の周知を行っていく。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
成果指標		認知症グループホーム施設整備数（箇所）			0	0	0	3	—			
成果指標		看護小規模多機能型居宅介護事業所施設整備数（箇所）			0	0	0	1	—			
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		7,481	0	0	235,418	合計 0 円					
	財源	特定財源	7,481	0	0	235,418						
		一般財源	0	0	0	0						
	職員人件費 ②		77	80	910	931						
	総事業費（①＋②）		7,558	80	910	236,349						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称							
		7年度までの累積事業費		0								
9年度以降の事業費見込		0										

会計名			介護施設等整備費補助事業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	介護保険企画係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし、自宅近くで介護サービスを受けられることを目的とした、地域包括ケアシステムの構築の上で重要なサービス事業所の整備に対する補助制度である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金交付要綱及び愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	認知症対応型共同生活介護と（看護）小規模多機能型居宅介護事業所は、刈谷市民のみが利用できる地域密着型サービスの事業所であり、また、第9期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で整備を位置付けている。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	整備費等に対して補助金を交付することで、事業者の安定した経営による良質なサービスの提供に寄与できる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	安定した質の高い介護サービスの提供体制を維持・向上させるため、第9期介護保険事業計画の整備目標に基づき、事業者を広く公募し、事業所の整備を図る。					

会計名			高齢者物価高騰対応生活支援事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	9								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	食料品等の物価高騰による影響を受けている高齢者の生活を支援する。				主たる内容	食料品等の物価高騰による負担を軽減するため、65歳以上の高齢者に対して、1人当たり10,000円のギフトカードを配付する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市高齢者物価高騰対応生活支援事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	令和7年度～令和8年度		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
					高齢者生活支援ギフトカードの配付準備		高齢者生活支援ギフトカードの配付			
	成果		食料品等の物価高騰による影響を受けている高齢者の生活を早期に支援する必要があることから、ギフトカードの調達、配付事務の委託契約等を実施し、配付の準備事務を迅速に進めた。							
	課題		キャッシュレス決済に慣れていない人等へ、ギフトカードの使用方法を効果的に周知するほか、専用コールセンターを設置し、個別の相談にも対応する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	高齢者生活支援ギフトカード配布者数（人）			—	—	—	32,000	—	
	成果指標	高齢者生活支援ギフトカード利用率（%）			—	—	—	90	—	
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費①		0	0	0	0	合計 0円				
財源		特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	0	0	0				
職員人件費②		0	0	2,150	3,048					
総事業費（①+②）		0	0	2,150	3,048					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			高年齢者物価高騰対応生活支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	現役世代と比べて賃金上昇の恩恵が少なく、食料品等の物価高騰による影響を受けやすい高齢者の生活を支援する必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	ギフトカードは、スーパーやコンビニ、ドラッグストアなど、日常的に利用する店舗での利用が可能であり、高齢者が食料品等を購入する際に使いやすいこと。また、申請手続きの手間がなく、郵送が可能なギフトカードを送付することで、迅速な事業の実施を図ることが可能である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	国の物価高騰に対する経済対策として、国が定めた交付金実施要綱で実施主体が市町村とされている。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	申請不要で物価高騰の影響を受けている高齢者へ直接支援することができるため、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性		□ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 ■ 休止・廃止		
	本事業は、国が定めた交付金実施要綱を活用した時限的な事業であり、令和8年度に終了する。				

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者への生活支援								
	目的	福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。				主たる内容	協議会を開催し、福祉有償運送の適切な運営を図る。				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱								
	対象者	協議会委員				事業期間	平成17年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・協議会の開催 開催日 11月15日		・協議会の開催 開催日 11月15日		・協議会の開催 開催日 11月13日		・協議会を1回以上開催					
成果		運営協議会でNPOによる自家用自動車を使用した有償運送についての協議を行い、適切な運営についての意見交換を行うことができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		協議会開催数（回）			1	1	1	1	1		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		58	58	60	61	合計	60,300 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	60,300 円			
		一般財源	58	58	60	61					
	職員人件費 ②		1,611	1,433	1,488	1,524					
	総事業費（①＋②）		1,669	1,491	1,548	1,585					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護保険会計繰出事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		介護保険企画係	
3	1	3								

PLAN概要

総合計画
施策体系

分野
福祉安心

基本施策
高齢者福祉

施策の内容
介護サービスの充実

目的
介護保険事業の円滑な運営を図る。

主たる内容
介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。

位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
	根拠法令	介護保険法			
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成12年度～
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他			

BD実績

5年度実績

6年度実績

7年度実績

8年度計画

介護給付費分：1,098,870,000円
地域支援事業費分：197,878,000円
低所得者保険料軽減分：82,090,000円
総務費分：286,179,000円
計1,665,017,000円

介護給付費分：1,157,201,000円
地域支援事業費分：203,512,000円
低所得者保険料軽減分：113,112,000円
総務費分：294,120,000円
計1,767,945,000円

介護給付費分：1,175,699,000円
地域支援事業費分：236,341,000円
低所得者保険料軽減分：71,715,000円
総務費分：296,256,000円
計1,780,011,000円

介護給付費分：1,203,182,000円
地域支援事業費分：180,477,000円
低所得者保険料軽減分：70,828,000円
総務費分：308,251,000円
計1,762,738,000円

成果
介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。

課題

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
活動指標	繰出額（千円）	1,665,017	1,767,945	1,780,011	1,762,738	—
指標						

他市との比較検証

CV

C事業コスト

単位：千円

5年度（決算）

6年度（決算）

7年度（決算）

8年度（予算）

7年度事業費内訳

事業費①

1,665,017

1,767,945

1,780,011

1,762,738

合計1,780,011,000円
繰出金1,780,011,000円

財源

特定財源

59,108

84,834

50,087

53,121

一般財源

1,605,909

1,683,111

1,729,924

1,709,617

職員人件費②

77

239

248

254

総事業費（①＋②）

1,665,094

1,768,184

1,780,259

1,762,992

建設事業

全体事業費（単位：千円）

0

7年度特定財源名称

7年度までの累積事業費

0

低所得者保険料軽減負担金（国・県）

9年度以降の事業費見込

0

会計名			老人いこいの場整備運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。				主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。			
		位置づけ								
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱							
	対象者	60歳以上の高齢者				事業期間	昭和48年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・いこいの場開設(32か所)		・いこいの場開設(32か所)		・いこいの場開設(30か所)		・いこいの場開設(30か所)				
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		いこいの場開設日数（日）				4,470	4,520	4,246	4,250	—
活動指標		いこいの場利用者数（人）				44,899	48,194	50,328	50,330	—
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,080	3,041	2,923	2,880	合計	2,922,866 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,922,866 円		
		一般財源	3,080	3,041	2,923	2,880				
	職員人件費 ②		1,381	1,832	1,488	1,524				
	総事業費（①＋②）		4,461	4,873	4,411	4,404				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齢者スポーツ等奨励事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の出場選手を激励するとともに、高齢者スポーツの振興を図る。				主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令								
	対象者		※主たる内容に記載				事業期間		～	
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	愛媛大会：7人		鳥取大会：10人 全日本0-70サッカー大会：1人		岐阜大会：16人 全日本0-70サッカー大会：2人		埼玉県大会			
	成果									
	課題									
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	高齢者スポーツ大会出場者数（人）			7	11	18	—	—	
	指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		70	110	180	150	合計	180,000 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	報償費	180,000 円		
		一般財源	70	110	180	150				
職員人件費 ②		614	637	662	677					
総事業費（①＋②）		684	747	842	827					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			敬老金等支給事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。				主たる内容	○各地区等で行われる敬老会事業に対する補助 ○対象者に対する敬老金の贈呈		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老金支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱						
		対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		
	成果	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	敬老金対象者（人）			1,295	1,366	1,339	—	—
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		27,852	28,941	29,713	33,350	合計	29,712,947 円	
	財源	特定財源	2	2	0	2	報償費	14,990,000 円	
		一般財源	27,850	28,939	29,713	33,348	需用費	431,547 円	
	職員人件費 ②		1,995	2,469	2,563	2,625	役務費	476,000 円	
	総事業費（①＋②）		29,847	31,410	32,276	35,975	委託料	132,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	3,400 円
		7年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金（県）		負担金、補助及び交付金	13,680,000 円
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			地域介護等推進事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		介護予防推進係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	家庭介護や介護予防についての正しい知識や技術を学ぶ機会を提供し、高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。				主たる内容	○家庭介護教室の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	平成19年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 19回 1,003人 個人 3回 52人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 33人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ※認知症サポーター養成講座 認知症サポーターステップアップ講座、窓口及び施設におけるパンフレット等の配布については、介護保険特別会計認知症サポーター等養成事業にて継続。		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ3日間		・家庭介護教室の開催 年4回			
	成果	専門家による講演、演習により、介護予防に関する知識や実践方法を身につける機会を提供できた。								
	課題	より多くの人に参加してもらえるよう開催場所や開催数の拡大を検討する。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）		12,101						
	活動指標	家庭介護教室参加者数（人）		110		87	90	100	100	
	他市との比較検証	他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		389	65	11	100	合計 10,500 円				
財源		特定財源	0	65	11	100	使用料及び賃借料 10,500 円			
		一般財源	389	0	0	0				
職員人件費 ②		2,532	327	339	0					
総事業費（①＋②）		2,921	392	350	100					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		地域福祉基金積立金利子				
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護職の魅力向上事業				担当部		福祉健康部			
一般会計							担当課		長寿課			
款	項	目					担当係		介護保険企画係			
3	1	3										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心									
		基本施策	高齢者福祉									
		施策の内容	介護サービスの充実									
	目的	介護に関する理解を深めることで、介護職への関心を喚起し、介護人材の参入促進を図る。				主たる内容	刈谷わんさか祭り等のイベントに出展し、介護や介護の仕事の魅力に関する情報発信や周知活動を行う。					
		位置づけ	関連計画						刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
		根拠法令	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱									
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・イベント出展 刈谷わんさか祭り FC刈谷ホームタウンデー 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布									
			6年度実績	・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布								
7年度実績				・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布								
				8年度計画	・イベント出展 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布							
成果		各種イベントにおいて、介護現場で実施しているレクリエーションの紹介、介護現場に従事している介護職員と協働した福祉用具の展示、及びオミビスタ等の体験を行ったことにより、介護職の魅力に関する情報発信及び啓発活動を効果的に行うことができたほか、介護人材の参入促進及び将来における安定的な介護サービスの提供に向けた支援に繋げることができた。										
課題		最先端の福祉用具を展示することで、介護職及び介護業界に対するイメージアップを図り、更なる魅力発信を行う。										
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値			
						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
		活動指標	イベント出展回数（回）			3	2	2	1	2		
		指標										
他市との比較検証												
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳					
	事業費①		248	224	196	149	合計	196,340 円				
	財源	特定財源	186	167	147	111	需用費	43,000 円				
		一般財源	62	57	49	38	使用料及び賃借料 負担金、補助及び 交付金	99,000 円 54,340 円				
	職員人件費②		77	876	910	931						
	総事業費（①+②）		325	1,100	1,106	1,080						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		介護の普及啓発事業費補助金（県）						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部		福祉健康部				
款 項 目							担当課		長寿課				
3 1 3							担当係		高齢福祉係				
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系		分野		福祉安心								
			基本施策		高齢者福祉								
			施策の内容		高齢者への生活支援								
	目的		在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、当該高齢者の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。 ○見舞金は、年2回（9月、3月）に分けて支給する。					
			位置づけ		関連計画			刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
			根拠法令		刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱								
			対象者		※主たる内容に記載				事業期間		昭和49年度～		
			実施方法		■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V			5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
				・受給者数 前期：936人 後期：886人		・受給者数 前期：899人 後期：981人		・受給者数 前期：1030人 後期：942人		・受給者数 前期：1000人 後期：1000人			
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。											
課題		高齢者数の増加に伴い、見舞金受給対象者の増加が見込まれるため、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防策を推進することが必要である。											
		指標名称（単位）				実績値			目標値				
						5年度			6年度				
						7年度			8年度				
						10年度							
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金前期受給者数（人）				936			899				
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金後期受給者数（人）				886			981				
C 事業コスト	他市との比較検証		県内の約半数の市町村で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定するほか、要介護度や世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市町村もある。										
	単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳		
	事業費 ①		45,000		47,411		49,638		39,908		合計 49,638,380 円		
	財源	特定財源	0		0		0		0		需用費 61,380 円		
		一般財源	45,000		47,411		49,638		39,908		役務費 472,000 円		
	職員人件費 ②		2,148		2,230		2,315		2,371		扶助費 49,105,000 円		
	総事業費（①+②）		47,148		49,641		51,953		42,279				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称							
		7年度までの累積事業費		0									
		9年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部 福祉健康部			
款 項 目							担当課 長寿課			
3 1 3							担当係 高齢福祉係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。				主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、1月当たり3,000円相当（要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、1月あたり6,000円相当）のおむつ費用助成利用券を交付する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者			事業期間	平成8年度 ～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・利用券交付者数 前期：779人 後期：778人		・利用券交付者数 前期：820人 後期：787人		・利用券交付者数 前期：846人 後期：864人		・利用券交付者数 前期：950人 後期：950人		
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券前期交付者数（人）			779	820	846	950	950	
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券後期交付者数（人）			778	787	864	950	950	
他市との比較検証		県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		22,080	22,640	23,401	48,800	合計	23,401,243 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円		
		一般財源	22,080	22,640	23,401	48,800	需用費	231,440 円		
	職員人件費 ②		1,765	2,628	2,315	2,371	役務費	857,000 円		
	総事業費（①＋②）		23,845	25,268	25,716	51,171	扶助費	22,276,803 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	在宅の高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図る。				主たる内容	65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人及び事業対象者でない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要領						
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成9年度～令和7年度		
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		実績延日数：140日 利用延人数：929人		実績延日数：153日 利用延人数：1,138人		実績延日数：155日 利用延人数：1,440人				
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			140	153	155	—	—	
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			929	1,138	1,440	—	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費①		5,252	6,106	6,313	0	合計	6,312,656円		
	財源	特定財源	473	1,723	2,590	0	委託料	6,312,656円		
		一般財源	4,779	4,383	3,723	0				
	職員人件費②		1,304	1,035	1,075	0				
	総事業費（①＋②）		6,556	7,141	7,388	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金 地域福祉基金積立金利子				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		高齢福祉係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者への生活支援								
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。				主たる内容	○刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 ○養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日用生活品の購入などに充てる。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱								
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成18年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
受給者数：6人		受給者数：4人		受給者：3人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。					
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日用生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。									
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）			6	4	3	—	—		
指標											
他市との比較検証		養護老人ホームを持つ近隣4市（碧南、高浜、安城、知立）は補給金を7,500円／月としている。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		443	368	270	525	合計	270,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	270,000 円			
		一般財源	443	368	270	525					
	職員人件費 ②		691	717	744	762					
	総事業費（①＋②）		1,134	1,085	1,014	1,287					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			在日外国人特別給付事業				担当部		福祉健康部						
一般会計							担当課		長寿課						
款	項	目					担当係		長寿生きがい係						
3	1	3													
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心												
		基本施策	高齢者福祉												
		施策の内容	高齢者への生活支援												
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。				主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。								
	位置づけ	関連計画													
		根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱												
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成6年度～							
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他													
BDO 事業実績 計画V	5年度実績	受給者数：1人		6年度実績		受給者数：1人		7年度実績		受給者数：1人		8年度計画		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
	成果	市民だより等で事業の周知を行った。													
	課題	対象者を適切に把握する必要がある。													
	指標名称（単位）				実績値				目標値						
					5年度		6年度		7年度		8年度		10年度		
	活動指標	在日外国人特別給付金受給者数（人）			1		1		1		—		—		
	指標														
他市との比較検証															
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳				
	事業費 ①		120		120		120		120		合計		120,000 円		
											扶助費		120,000 円		
	財源	特定財源	0		0		0		0						
		一般財源	120		120		120		120						
	職員人件費 ②		537		637		496		508						
	総事業費（①＋②）		657		757		616		628						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称									
		7年度までの累積事業費		0											
9年度以降の事業費見込		0													

会計名			高齢者緊急一時保護居室確保事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齢者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。				主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	老人福祉法 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律							
	対象者						事業期間	平成30年度～		
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 3件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 5件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 4件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。			
	成果	虐待等高齢者の緊急一時保護に迅速に対応できた。								
	課題	虐待等で一時保護された高齢者の身を守るため、施設と面会制限等の適切な対応について検討する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	緊急一時保護居室確保数（床）				2	2	2	2	2
	活動指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		4,284	4,777	3,964	4,908	合計 3,963,740 円				
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料 3,963,740 円			
		一般財源	4,284	4,777	3,964	4,908				
職員人件費 ②		691	717	744	762					
総事業費（①＋②）		4,975	5,494	4,708	5,670					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。				主たる内容	行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	令和元年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 118人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 152人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 180人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 190人		
	成果		認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。						
	課題		日常的にはいかひの恐れのある高齢者に対し、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			118	152	180	190	200
	活動指標								
	他市との比較検証		近隣市町では安城市、高浜市、知立市、碧南市で実施している。近隣市町も刈谷市と同様にSOSネットワーク事前登録者で保険加入を希望する方を対象としている。						

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		340	312	496	500	合計	496,370 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	496,370 円
		一般財源	340	312	496	500		
	職員人件費 ②		537	557	579	593		
	総事業費（①＋②）		877	869	1,075	1,093		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者への生活支援					
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。			主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。		
						※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。		
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
			根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則				
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～	
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：20人 他市：7人 （年度末時点）		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：21人 他市：7人 （年度末時点）		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：20人 他市：6人 （年度末時点）		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。		
	成果	居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
	課題	定員50名に対し、5割程度の入居率となっている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	養護老人ホーム被措置者数（人）			27	28	26	—	—
	指標								
	他市との比較検証	養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、豊田市他）がある。							

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		68,869	72,861	69,462	84,131	合計	69,461,863 円	
	財源	特定財源	53,416	57,025	645	71,568	報償費	100,000 円	
		一般財源	15,453	15,836	68,817	12,563	扶助費	69,361,863 円	
	職員人件費 ②		2,148	2,230	2,315	2,371			
	総事業費（①+②）		71,017	75,091	71,777	86,502			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。				主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年収入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～		
		実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
①助成人数 12人 助成額 357,884円		①助成人数 11人 助成額 371,043円		①助成人数 16人 助成額 509,503円		①助成人数 18人 助成額 592,000円			
②補助法人数 2法人 補助額 547,000円		②補助法人数 2法人 補助額 805,000円		②補助法人数 3法人 補助額 822,000円		②補助法人数 3法人 補助額 1,127,000円			
成果		生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。							
課題		市民及び法人へ制度の周知を図ること。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			12	11	16	18	18
活動指標		②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			547,000	805,000	822,000	1,127,000	1,127,000
他市との比較検証		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。							
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		905	1,176	1,332	1,747	合計 1,331,503 円		
	財源	特定財源	410	603	616	863	負担金、補助及び 交付金 822,000 円		
		一般財源	495	573	716	884	扶助費 509,503 円		
	職員人件費 ②		230	239	248	254			
	総事業費（①+②）		1,135	1,415	1,580	2,001			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減 事業費補助金（県）			
9年度以降の事業費見込		0							

会計名			ケアプラン指導研修事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護認定給付係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。				主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	介護保険法								
	対象者	市内介護支援専門員				事業期間	平成18年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 1回		ケアプラン指導研修会（オンライン） 1回		ケアプラン指導研修会（オンライン） 1回					
成果		介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。									
課題		介護支援専門員のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。また、業務都合で参加できない人が多くいるため、動画配信型の研修に切り替える必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		開催数（回）		2		1	1	1	1		
成果指標		延参加人数（人）		67		46	47	60	60		
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		15	0	0	29	合計 0 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0					
		一般財源	15	0	0	29					
	職員人件費 ②		77	80	83	85					
	総事業費（①＋②）		92	80	83	114					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	6								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市ふれあいの里条例						
		対象者	※目的に記載			事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		
	成果	入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			22	24	28	—	—
指標									
他市との比較検証	老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		96,209	99,161	108,688	114,811	合計	108,688,000 円
	財源	特定財源	5,956	6,514	17,514	9,451	委託料	108,688,000 円
		一般財源	90,253	92,647	91,174	105,360		
	職員人件費 ②		384	637	662	677		
	総事業費（①＋②）		96,593	99,798	109,350	115,488		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入		
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	7									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷にぎわいオフィスに委託する。				
		位置づけ	関連計画						刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画		
		根拠法令						刈谷市南部福祉センター条例			
	対象者		60歳以上の高齢者			事業期間		平成13年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催			
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。									
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）			32,611	30,829	30,943	31,000	—		
活動指標		うち浴室利用者数（人）			17,467	18,235	19,058	19,500	—		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		18,180	20,099	21,306	25,522	合計	21,306,131 円			
	財源	特定財源	758	820	0	753	報償費	336,000 円			
		一般財源	17,422	19,279	21,306	24,769	需用費	3,901,660 円			
	職員人件費 ②		767	1,035	1,075	1,101	役務費	33,000 円			
	総事業費（①+②）		18,947	21,134	22,381	26,623	委託料	15,858,971 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	661,216 円			
		7年度までの累積事業費		0	行政財産目的外使用料		備品購入費	515,284 円			
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である公益社団法人刈谷市シルバー人材センターに委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	昭和62年度～			
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用			
	成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
	活動指標	高齢者市民講座参加者延人数（人）	3,690	3,789	3,800	3,800	—			
	活動指標	生きがいセンター延べ利用者数（人）	16,173	16,732	16,800	16,800	—			
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		21,383	21,139	21,128	22,561	合計	21,128,211 円			
財源		特定財源	0	0	0	10	役務費	18,291 円		
		一般財源	21,383	21,139	21,128	22,551	委託料	19,129,920 円		
職員人件費 ②		614	637	662	677	使用料及び賃借料	1,980,000 円			
総事業費（①＋②）		21,997	21,776	21,790	23,238					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齢者交流プラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
		目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
	対象者	60歳以上の高齢者				事業期間		平成9年度～		
		実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	6年度実績		7年度実績			8年度計画		
			・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催			
成果			利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。							
課題			施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		高齢者交流プラザ延べ利用者数（人）			82,774	95,299	92,720	93,000	—	
活動指標		大浴室利用者数（人）			30,007	33,858	31,735	32,000	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		95,375	93,061	98,747	100,441	合計	98,746,643 円		
	財源	特定財源	200	0	686	10	役務費	107,498 円		
		一般財源	95,175	93,061	98,061	100,431	委託料	93,138,000 円		
	職員人件費 ②		767	637	662	677	使用料及び賃借料	3,286,165 円		
	総事業費（①+②）		96,142	93,698	99,409	101,118	備品購入費	1,728,980 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		補償、補填及び賠償金	486,000 円		
		7年度までの累積事業費		0	高齢者福祉施設事業費寄附金					
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			いきいきプラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	7									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則								
	対象者	60歳以上の高齢者				事業期間	平成10年度～				
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 ・トレーニング機器の更新		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 ・トレーニング機器の更新					
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。									
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）				18,191	20,624	21,990	21,990	—	
活動指標		トレーニング室利用者数（人）				5,799	7,609	8,955	8,955	—	
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		37,464	35,434	39,936	39,667	合計	39,935,980 円			
	財源	特定財源	1,624	90	0	91	需用費	236,500 円			
		一般財源	35,840	35,344	39,936	39,576	役務費	30,800 円			
	職員人件費 ②		614	637	662	677	委託料	38,658,000 円			
	総事業費（①+②）		38,078	36,071	40,598	40,344	備品購入費	1,010,680 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人デイサービスセンターなのはな管理運営事業				担当部 福祉健康部		
款 項 目 3 1 7							担当課 長寿課		
							担当係 長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる 内容	○施設の修繕		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者						事業期間	～	
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・浴場床タイル修繕 ・薬液注入ユニット修繕 ・大便器フラッシュバルブ修 繕 ・洋風便器取替修繕 ・コロナ対策消耗品の購入		・手洗い水栓等修繕 ・給湯管漏水修繕 ・火災通報装置取替修繕		・受水槽設備修繕 ・入口天井修繕 ・給湯器取替修繕		・施設修繕の実施		
	成果	施設の不具合箇所を修繕することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動 指標								
	活動 指標								
	他市との 比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （決算）	8年度 （予算）	7年度 事業費内訳	
事業費 ①		910	1,470	1,087	1,526	合計 1,087,135 円			
財 源		特定財源	0	0	0	10	需用費 934,340 円		
		一般財源	910	1,470	1,087	1,516	役務費 11,995 円		
職員人件費 ②		537	637	662	677	備品購入費 140,800 円			
総事業費（①＋②）		1,447	2,107	1,749	2,203				
建設 事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
	9年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			老人デイサービスセンターひまわり管理運営事業				担当部		福祉健康部	
款 項 目 3 1 7							担当課		長寿課	
							担当係		長寿生きがい係	

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
		目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる 内容	利用者が安全に利用できる環境を整える。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
	対象者	介護保険法の規定に準じる				事業期間		平成9年度 ～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	6年度実績		7年度実績			8年度計画		
			リフト浴機械及び入浴用車椅子更新		送迎車タイヤ更新			LED化した照明機器のリース料を支払う。		
成果										
課題										
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）	293	294	292	293	—			
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）	5,703	5,629	5,005	5,100	—			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,170	0	180	1,420	合計	179,960 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	179,960 円		
		一般財源	5,170	0	180	1,420				
	職員人件費 ②		537	637	662	677				
	総事業費（①＋②）		5,707	637	842	2,097				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齢者交流プラザ改修事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり					
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○修繕 非常用蓄電池取替修繕 ○工事 空調機取替工事 浴槽設備等改修工事 大集会室吊物機構撤去工事 高圧受変電設備改修工事 大浴室換気扇取替修繕		
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則					
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	平成28年度～	
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	【修繕】 ・消防用設備機器取替修繕 ・浴室設備修繕 ・男性浴室換気扇取替修繕 ・駐車場等舗装修繕 ・屋外排水桝修繕 ・屋根ガラス修繕 ・多目的便所洋風便器修繕 【工事】 ・空調設備等改修工事		【修繕】 ・高圧ケーブル修繕 ・真空遮断器等修繕 ・自動制御機器電源カード交換修繕 ・1階デイ浴室換気扇取替修繕 【工事】 ・大集会室手すり設置工事 ・天井改修工事 ・給湯設備等改修工事		【修繕】 ・非常用蓄電池取替修繕 【工事】 ・空調機取替工事 ・浴槽設備等改修工事 ・大集会室吊物機構撤去工事 ・高圧受変電設備改修工事 ・大浴室換気扇取替修繕		【修繕】 ・空調用冷却水ポンプ修繕 ・浴室用ろ過ポンプ修繕 ・トップライト防水等修繕 【工事】 ・監視カメラ改修等工事（1階、3階、4階） ・喫煙所移設工事 ・洋式便座改修工事 ・手洗い自動水栓化工事		
	成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		13,063	11,565	10,462	10,652	合計	10,462,100 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,877,700 円
		一般財源	13,063	11,565	10,462	10,652	役務費	176,000 円
	職員人件費 ②		1,074	876	910	931	工事請負費	8,408,400 円
	総事業費（①+②）		14,137	12,441	11,372	11,583		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			いきいきプラザ改修事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり				
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○修繕 ブラインド等修繕 1階正面入口自動扉修繕	
						○工事 非常用発電設備設置工事	
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則				
		対象者	施設利用者		事業期間	平成28年度～	
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	【修繕】 ・ロスナイ取替修繕 ・ブラインド修繕 ・事務室床修繕 ・多目的トイレ修繕 【工事】 ・プール用ユニットヒーター改修工事 ・エレベーター改修工事 ・電話交換機等改修工事		【修繕】 ・ボイラー集熱ポンプ部品取替修繕 ・小便器内部部品修繕 【委託】 ・非常用発電設備設置工事 施設計業務委託		【修繕】 ・ブラインド等修繕 ・1階正面入口自動扉修繕 【工事】 ・非常用発電設備設置工事		【修繕】 ・3階機械室ろ過装置部品修繕 ・トイレ換気扇取替修繕 ・トイレ手洗い自動水栓取替修繕 ・全熱交換器取替修繕 ・内壁面クロス修繕 【工事】 ・高圧電気設備改修工事 ・1階工作室LAN敷設工事			
	成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標									
	成果指標									
	他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		42,239	2,894	42,155	15,688	合計	42,155,300 円	
	財源	特定財源	14,000	0	0	0	需用費	763,400 円	
		一般財源	28,239	2,894	42,155	15,688	工事請負費	41,391,900 円	
	職員人件費 ②		691	876	910	931			
	総事業費（①+②）		42,930	3,770	43,065	16,619			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			健康づくり推進施設補助事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民の健康を守り福祉の向上に資する。				主たる内容	一ツ木福祉センターの補完施設として、市民に開放されている介護老人保健施設の清掃業務費及び光熱水費を補助する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者		医療法人豊田会			事業期間		平成10年度～		
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	施設の一般開放、介護予防教室の開催		施設の一般開放、介護予防教室の開催		施設の一般開放、介護予防教室の開催		施設の一般開放、介護予防教室の開催			
	成果	一ツ木福祉センターを補完することができた。								
	課題									
	指標名称（単位）					実績値			目標値	
						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	成果指標	日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）				—	65.5	—		70
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		8,970	10,145	9,708	10,074	合計 9,708,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 9,708,000 円			
		一般財源	8,970	10,145	9,708	10,074				
	職員人件費 ②		537	637	662	677				
	総事業費（①＋②）		9,507	10,782	10,370	10,751				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								